



故 前會長 名譽會員 工學博士 鹽 田 泰 介 君

故前會長 名譽會員 工學博士 鹽田泰介君小傳

博士は岡山縣赤磐郡輕部村今井の出身にして初期朝鮮公使故子爵花房茂實氏叔母の家鹽田家を嗣ぎ明治二十三年東京帝大造船科卒業後直に三菱長崎造船所に入り後三菱神戸造船所開設せるゝや明治四十年同所長に任ぜらる、其間明治三十年社命を以て渡英造船事業を視察し又日清戦後に於て有名なる常陸丸を始め我國造船界に劃期的記録を印する幾多船舶の建造に異常の手腕を發揮せられたり、明治四十一年七月長崎造船所副長に轉じ同四十四年同所長に進み軍艦日向建造中大正六年東京三菱合資會社造船部理事に轉じ次で専務理事に昇任同年十一月一日三菱造船株式會社の成立と共に常務取締役に擧げらる。次で同九年七月三菱内燃機株式會社取締役會長に轉じ同十一年辭任同十四年一月三菱造船株式會社取締役辭任後同社顧問となり昭和十二年十二月株式會社三菱社顧問となる、他面帝國海事協會理事、商工省工業品規格統一調査會委員等に任じ多年の蘊蓄を造船界工業界の爲め傾注せらる。

特に博士が本邦鐵鋼事業の發展に腐心せられ大正四年日本鐵鋼協會創立さるや率先加盟して初期の評議員となり大正八年六月理事に擧げられ爾來重任大正十五年四月本會第六次會長に當選せらる、昭和三年三月任期滿了後は前會長として今日迄本會の爲めに常に盡瘁せられ本會の發展に貢獻せらるゝ處尠からず、昭和十三年一月五日午前一時突如急性肺炎にて長逝せらる、享年七十二歳、博士は資性快活恬淡溫情溢るゝが如く上下の信賴敬愛を享くる洵に宜なりと云ふ可く常に本會の役員會其他諸會合に精勵參加せられ後輩を激勵鞭撻以て本會の發展に専心傾倒されたるに今や幽明境を異にす、洵に痛惜に堪へざる處なり。